

令和元年度 **浜田教育事務所だより** 第73号 令和元年5月13日

- ◆所長あいさつ (p.1)
- ◆スタッフ紹介 (pp.2-3)
- ◆各市町の取組～浜田市・邑南町 (pp.4-6)
- ◆学校訪問指導について (p.7)
- ◆管内の研究大会・各種指定事業校について (p.8)

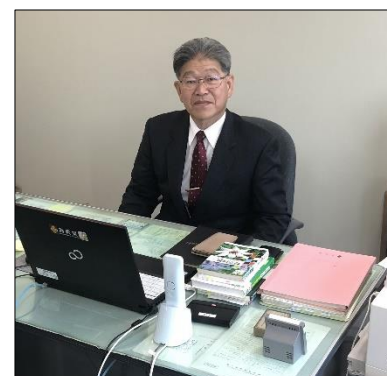
新年度のスタートに当たって 所長 上部 証司

4月5日快晴の青空の下、大田市、美郷町、邑南町の5校を訪問しました。どこも桜の花が満開で、美郷町の三江線跡の潮駅の周辺でも今年も見事な桜並木を見ることが出来ました。各学校、満開の桜の中で新学期がスタートしたのではないかと思います。今は、浜田合同庁舎の窓から見える原井小学校のツツジが咲いています。新年度がスタートしてから1か月が過ぎました。各小・中学校ともに、校長先生が示された経営の重点に向かって順調に教育活動が展開され、子供たちが生き生きと活動を始めていることと思います。

浜田教育事務所では、今年度も①市町教育委員会の権限強化と力量向上のための支援、②教職員の資質向上のための指導助言、③学校の組織的な取組向上への支援、④市町と連携した「しまねの学力育成推進プラン」の強力な推進を目標として設定しています。今年度は7名の転入者を迎えました。総勢37名のスタッフは、「笑顔と元気、感謝の気持ちを大切にしたい風通しのよい職場～相手を笑顔にする、相手に元気を与える～」をモットーに目標達成に向けて日々の業務に取り組んでいます。

さて、今年の1月終わりに習字作品の表彰式に参加しました。小学校4年生から一般の方まで約30名が表彰されました。その中で嬉しかったことがありました。呼名をされたときに小学生が大きな声で返事をしてくれました。教育関係者として表彰式に参加し、浜田管内の児童が元気のよい返事をしてくれたことは本当に嬉しくなりました。学校だけでなく外に出たときにきちんと返事が出来るということは、家庭での指導や学校で日頃からしっかりした取組がされているからだろうと感じました。また、大人の皆さんの返事も子供たちの見本になるような素晴らしい返事でした。そして最後の指導講評で講師の先生が、習字の作品についてだけではなく、返事が良かったこと、返事の大切さについて話をされました。4月1日、島根県新田教育長は、管理職辞令交付式・新規採用教員辞令交付式の訓辞の中で、島根県教育委員会が進める「教育の魅力化」について、「新学習指導要領が目指す学びの姿は、教育の魅力化と方向性が同じである」と示した上で、さまざまな教育資源を生かしながら魅力ある学校づくりに尽力してほしいと訓辞をされました。昨年度「教育の魅力化」の考え方が示されました。学校・家庭・地域が一緒になって島根らしい教育の魅力を教職員の皆さん一人一人の積極的な取組によって高めていかなければならないと思います。この表彰式の中で島根の良さを見せていただいたように思います。本当に嬉しい表彰式の参加となりました。

最後になりましたが、本年度はそれぞれの学校で「教育の魅力化」とともに「働き方改革」が大きな取組の柱の一つになります。この1年間、浜田管内約1250名の教職員の皆さんがワーク・ライフ・バランスの適正化に努めながら、元気で勤めていただくことを心から願っています。



令和元年度 浜田教育事務所スタッフと主な事務分掌

- ◆ 氏名の下に（５７**）は浜田合庁勤務スタッフの電話番号です。（０８５５－２９－）に続けてダイヤルしてください。
- ◆ 市町派遣スタッフは各市町教育委員会勤務です。

【浜田合庁勤務スタッフ】



【所長】 上部証司
★総括
(5700)



【調整監】 伊津洋士
★人事・任用・服務
(5701)



【社会教育スタッフ】
久佐日佐志 竹中律子
(5709) (5712)
★社会教育, 生涯学習
★ふるさと教育の推進
★人権・同和教育の推進



【総務課・教職員互助会浜田支局】
鹿森千恵子 野崎麻友 浅田敏裕
(5703) (5705) (5704)
奥村陽香 伊藤知数 石川大介
(5702) (5703) (5711)
★給与・手当に関すること
★旅費に関すること



【学校教育スタッフ】
小松原昌宏 佐々本茂 土田真治 土江庸介
(5707) (5753) (5708) (5706)
村田淳子 大橋里沙 土井伸一 河村恭子 金谷直美
(5790) (5706) (5707) (5706) (5790)

【各市町派遣スタッフ】



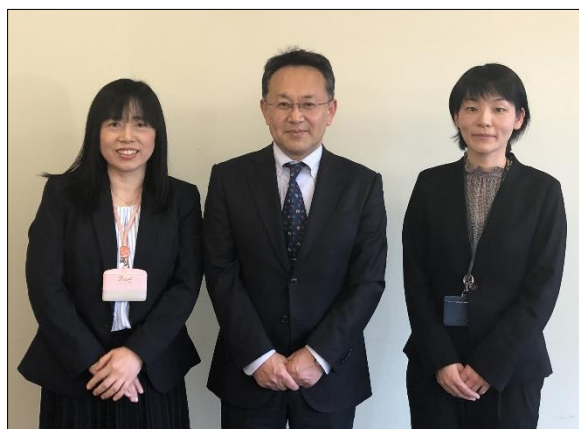
【浜田市派遣スタッフ】

鹽谷 覚 小川 豊
前原靖子 三浦洋子 鶴原芳子



【大田市派遣スタッフ】

岩谷和樹 福本修司
浄西昭憲 生越 徹 山崎 勲



【江津市派遣スタッフ】

春木二美 岡田和明 石井亜紀



【美郷町・川本町・邑南町派遣スタッフ】

竹田進吾 藤住 亨
(川本町) (美郷町)
田中 淳 三宅誠幸 南口周哉
(川本町) (邑南町) (美郷町)

浜田教育事務所の目標

- ・市町教育委員会の権限強化と力量向上のための支援
- ・教職員の資質向上のための指導助言
- ・学校の組織的な取組（学校力）の向上への支援
- ・市町と連携した「しまねの学力育成推進プラン」の強力な推進

今年度もスタッフ一同、力と心を尽くしてサポートさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

各市町の取組から ～浜田市・邑南町～

一人一人の幸せに向けて

浜田市教育委員会 派遣指導主事 鶴原芳子

浜田市教育委員会での特別支援教育担当 4 年目になりました。今年度も先生方や関係機関の方々とつながりながら、特別支援教育の推進と充実に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

【特別支援教育の取組】①「相談支援チームの訪問」：各学校等のニーズや実態に応じて、はまだ特別支援教育相談室STEP（浜田養護学校・浜田ろう学校）、特別支援教育支援専任教員（浜田教育事務所）、西部発達障害者支援センターウィンド、子育て支援課、地域福祉課等と連携を図りながら訪問を行っています。特別な配慮を必要とする子供の早期発見・早期支援につなげるために、校内委員会で検討の後、活用してください。②「教育支援委員会に関すること」：調査票をもとに各学校等訪問、保護者面談、教育支援委員会を行います。各学校等と連携し、本人や保護者の思いに寄り添いながら丁寧な教育相談、就学相談に心がけていきたいと思ひます。③「特別支援教育に関する研修会」：特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学級で使用する教科用図書についての説明会、特別支援学級の教育課程編成研修会を行います。また、昨年度大変好評でしたので、ひらがな読みに困難さのある子供への早期支援と日々の授業づくりの充実に向けた研修会を5月と7月の2回実施します。その他にも、先生方のニーズに応じた研修会を行ってきたいと考えています。④「相談支援ファイル活用の推進」：昨年度、初めて「特別な支援を要する生徒に関する中高連絡会」が実施されました。個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と共に、ライフステージを通じて効果的な支援が適切に引き継がれるために、相談支援ファイルにあります「引継書」をぜひ活用してください。⑤「浜田教育事務所と連携した学校訪問」：各教科等を合わせた指導（生活単元学習等）や自立活動の研究授業、各学校の相談等について、浜田教育事務所の特別支援教育担当指導主事と連携して訪問します。



一人一人の笑顔と幸せに向けて、先生方や関係機関の方々と一緒に考えながら一步一步進めていきたいと思ひます。引き続きよろしくお願ひします。

「気づきで築く、児童生徒との関係」

浜田市教育委員会 派遣指導主事 鹽谷 覚

浜田市教育委員会での勤務も2年目となりました。主に生徒指導を中心に担当しています。今年度も現場を支えるために何ができるのか、ということを中心に念頭に置き、各学校との関わりをもたせていただければと思ひます。そのためにも、まずは関係する担当の先生との連携に努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

浜田市で昨年度までと大きく変わったことは、スクールソーシャルワーカー（SSW）が2人体制になることです。とはいえ、これまでどおり、効果的な運用ができるよう時間を確保しております。多くの事例で初期対応が大切です。遠慮なく、市教委まで相談をしてください。本年度も1学期に、市内すべての学校をSSWが訪問し、様子を伺わせていただく予定です。また、アンケートQ-Uによる集団づくりにあたっては、今年度も浜田市は小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒を実施対象としています。ぜひ、有効に活用してください。



年度末から生徒指導に関わる多くの調査依頼があり、担当の方には大変お世話になりました。浜田市ではこうした調査にかかる現場の負担を少しでも減らせるよう改善を進めています。現場の皆さんが、児童生徒と向き合うことができる時間が増えることは、積極的な生徒指導にもつながると考えています。

夏季休業中には、関係機関の担当者の方も一緒に市内すべての学校を訪問します。皆さんの細やかな気づきが、あとになって児童生徒に対する効果的な支援につながる事例が多くあります。今年もしっかりと情報交換ができることを楽しみにしています。

浜田のふるさと郷育「海洋教育」

浜田市教育委員会 派遣社会教育主事 小川 豊

地域の特性を生かしたふるさと教育が、県内各地で推進されています。浜田市では、“郷”の字を用いたふるさと郷育を推進しています。特色ある取組として、海をテーマとした Hamada マリン郷育、浜田の偉人伝を教材化した浜田市人物読本ふるさとの50人、さらに、自然体験活動推進事業などがあげられます。ふるさと郷育は、ふるさと浜田への愛着や誇りを醸成しています。

今年度は、Hamada マリン郷育を発展させた海洋教育に取り組みます。これは、海に関わる学習を通して、ふるさと浜田の宝である海に対する愛着を深め、ふるさとを誇りに思い、ふるさとのために何ができるかを考え、行動する児童生徒を育てることを目的としています。

海洋教育のプログラムは、まず、「海に親しむ」活動から始まって、各教科等と関連した「海を知る」学習へと展開します。総合的な学習の時間で行う課題発見探究学習はもとより、国語、理科、社会などの単元学習にも組み入れることができます。さらに、図工・美術や音楽での創作活動や体育的活動にも広がっていく要素があります。そして、学んだことを活用したり発展させたりすることによって、「海を活かす」「海を守る」学習へと進んでいきます。

このような海に関する学習の単元開発を進め、浜田の特色と魅力ある海洋教育プログラムの構築を目指します。

浜田市は、古来より海の恩恵にあずかりながら発展してきました。海洋教育には、これからの時代を担う浜田の子供たちに対して、ふるさとの豊かな海のように深くて広い心と大きな志を抱いてほしいという願いが込められています。

新元号の新しい時代を迎えましたが、少子高齢化、人口減少社会が加速する中で、持続可能な地域づくりに向けて地域課題解決型のふるさと教育が注目されています。浜田市の海洋教育にも注目してください。



「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて・・・

浜田市教育委員会 派遣社会教育主事 三浦洋子

4月14日(日)井野公民館で行われた「山菜セミナー」に参加しました。井野地域の新鮮な空気を吸いながらウォーキングをした後、地域の方やセミナーに参加された方が作られた山菜の天ぷら、おひたし等々の山菜料理を食し、春を満喫しました。

井野の山菜セミナーに参加すると必ず思い出すのが、江津市立跡市小学校に勤務していた時に公民館と小学校が連携して行っていた「自然に親しむ会」です。子供たちと一緒に地域の方から学んだ「のびる」や「ゆきのした」等の山菜。少し怯えながら食べた「つばき」の花の天ぷら、口の中がちくちくした感触が今でも忘れられない「あざみ」の天ぷら等々、10年以上も前のことですが、今でもはっきりと思い出すことができます。跡市小では「自然に親しむ会」に始まり、年間を通して地域の方と連携した教育活動が行われていました。

何より印象的なことは、中学生や高校生、社会人になった先輩方が様々な活動を見に来たり、放課後に来て小学生に指導をしてくれたりしていたことです。ふるさと大好きな跡市っ子にしたい、子供たちと一緒に跡市を元気にしたいという思いを、長年学校と地域が共有しながら様々な活動が行われてきた成果だったのだと今では実感しています。

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と地域の連携・協働を一層進めて行く事が重要であると言われていています。学校と地域が連携・協働した活動を通して子供たちの社会貢献意識、地域への愛着、コミュニケーション力及び学力の向上、教員の地域・社会への理解の促進、地域の教育力の向上、活動を通じた地域の課題解決や活性化など、子供、学校、地域それぞれに様々な効果が期待できるとされています。浜田市では、新しい時代を生きていく子供たちに求められている資質・能力を育むために、また、大人も資質・能力を高めるために、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動(地域学校協働活動)を「はまだっ子共育推進事業」の中で推進しています。



未来を生きる子供たちのために 浜田市教育委員会 派遣指導主事 前原靖子

浜田市では学力向上総合対策事業として、①家庭学習の充実、②教員の授業力向上、③図書館活用教育の推進を中心に進めていきます。今年度も、「協調学習」、「算数・数学」、「図書館活用教育」について、それぞれ2校の研究指定校を中心に研究を進め、各指定校が年2回以上の授業公開をして、市内の先生方に取組を広げていこうと考えております。

「協調学習」については、旭中学校と金城中学校が研究を進めて2年目、3年目になりますが、知識構成型ジグソー法を用いて、子供たちが主体的に学び、対話を通して学びを深める取組が着実に進められており、子供たちの学びの様子には目を見張るものがあります。10月18日(金)・19日(土)には全国の「新しい学びプロジェクト」に参加している学校や市町から先生方をお迎えし、研究大会を開催します。一日目は2校がそれぞれ2つの授業を公開し、互いにかかわり合いながら学ぶ子供たちの様子を見ていただく予定です。島根県も「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善プロジェクト事業」において協調学習を進めますので、県内からも多くの参加者をお待ちしております。

「算数・数学」は第二中学校と石見小学校、「図書館活用教育」は第一中学校と旭中学校が指定校として授業公開を行います。どの取組にも、先生方の授業改善のためのヒントが必ずあります。校種や教科を超えて学び合える機会となりますので、市内全ての先生方に、いずれかの公開授業を選び参加していただく予定です。

また、今年度は浜田市が「キャリア・パスポート活用・研究事業」を受け、第一中学校と原井小学校を研究校として取り組みます。7月29日(月)には文科省の長田調査官の講演会を計画しています。来年度からは全ての学校で実施していくことになっておりますので、良い機会ととらえ、みんなで一緒に学んでいきましょう。

さらに、小学校外国語活動については、今年度も浜田市内全ての学校を訪問させていただきます。単元のゴールを明確にし、必然性のある言語活動を設定する授業づくりについて、計画の段階から一緒に考えていけたらと思っております。また小学校の先生方の授業力と英語力向上のために、毎週火曜日にはALTと一緒に英会話教室を開催しております。

目の前の子供たちは、予測不能で変化の激しい未来をたくましく生きていく力を身につけていく必要があります。先生方の日々の授業が、子供たちの実生活や将来とつながっていく必要があるのです。

先生方の日々の取組や学びを精一杯支援していきますので、お気軽に声をかけてください。



地域・学校全体で子供を育てる邑南の学び

邑南町教育委員会 派遣指導主事 三宅誠幸

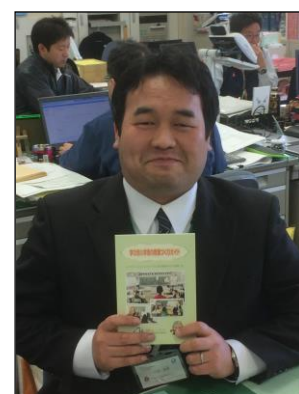
邑南町では、数年前から地域の教育力を活かし、学校と公民館が連携してふるさと教育を進めてきました。また、主体的・対話的で深い学びにつながる学び合い学習にも取り組んできました。町内全ての学校で取り組んできましたが、昨年度事業を受けた2つの小学校の取組を紹介します。

1校目は、日貫小学校が3年間かけて取り組んだ国事業の「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」です。地域の教育力を活かし、公民館と連携しながら地域課題の改善に向けて取組を重ねた結果、地域の課題を「誰かが解決する」のではなく「自分も解決する」と子供たちの意識が変わってきました。小学校・地域が協働で日貫地域を盛り上げる学びになりました。

2校目は、阿須那小学校が取り組んだ県事業の「複式教育推進指定校事業」です。ガイド学習の手法を活かし、学校全体で子供たちが主体的に学習する学びに取り組んだ結果、1学期は先生の指示を待っていた子供たちが、3学期には学習リーダーを中心に課題解決に向かう集団に変わっていききました。

この2校に共通するのは、子供たちが主体的に自分の考えを伝え、地域の方や友人と関わりながら意見交換をして考えを深めてきたこと。校長先生のリーダーシップの下、全ての先生方が同じ視点で子供たちに指導をしていたことです。

今年度は、羽須美中学校が県事業の「図書館活用教育研究事業」の指定を受けています。課題に対し、図書資料の中から必要な情報を選び、まとめ、相手に伝える能力は、これからの予測不可能な社会を子供たちが生きていくために必要な能力といえます。町内全ての学校に関わらせていただきますが、子供たちに必要な力をつけるために今年度も努力させていただきます。よろしくお願ひします。



今年度の学校訪問指導について

学校教育スタッフ 指導主事 河村恭子

浜田教育事務所では、「しまねの学力育成推進プラン」の3つの柱である「授業の質の向上」「家庭学習の充実」「学校マネジメントの強化」のうち、「授業の質の向上」の「教員の指導力向上のための指導・研修の充実」に資するため、学校訪問指導を下記の内容で実施し、助言・指導を行います。

I 研究推進型（継続型）

- 対象
 - ・継続的に学校訪問指導を希望する学校
 - ※研究発表等を控えている学校は優先的に選定する
- 内容
 - ・学校の主体的・自主的な取組を支援する
 - ・訪問回数は学校の計画に基づく
 - ・研究授業は年1回以上

II 研究授業型

- 対象
 - ・希望する学校
- 内容
 - ・学校の実態や要望に応じる
 - ・研究授業は年2回まで（原則全教職員参加）
 - ※それ以上の希望は訪問申請により対応
 - ※市郡町研究会等の授業公開と兼ねてよい

III 生徒指導 ※1月末まで

- 対象
 - ・管内すべての中学校
 - ・希望する学校
- 内容
 - ・全学級の授業参観（5校時または6校時）
 - ・管理職、生徒指導主任・主事等との情報交換（30分程度）
 - ・演習（50分程度、原則全教職員参加）

IV 特別支援教育

- 対象
 - ・新任の特別支援学級担任がいる学校
 - ・新任の通級指導教室担当者がいる学校
 - ・過去2年間訪問のなかった学校
 - ・にこにこサポート事業実施校
 - ・希望する学校
- 内容
 - ・研究授業（自立活動または各教科等を合わせた指導）
 - ※市郡町研究会等の授業公開と兼ねてよい
 - ・研究協議（原則全教職員参加）
 - ・担任・担当者との個別懇談

V 「初任者研修」・「経験者研修」

- 対象
 - ・対象者（教諭等）のいる学校
 - ※6年目研修第Ⅲ回研修会場校は対象外
- 内容
 - ・研究授業・協議
 - （初任研は原則全教職員参加）

VI 職務研修

- 対象
 - ・養護教諭（養護助教諭）、栄養教諭
 - ・学校事務職員
- 内容
 - ・養護教諭（養護助教諭）としての職務の充実、発展に関する指導・助言
 - ・学校事務職員としての学校事務の円滑な実施のための指導・助言（原則1回）
 - ※いずれも訪問申請書の提出を求める

お忙しい中「調査書」をご提出くださり、ありがとうございました。関係機関とも内容・日程等の協議を行った上で、5月下旬には各学校に「決定通知」をお送りする予定です。

今年度もよろしく願いいたします。

管内の研究大会・各種研究指定校について

学校教育スタッフ 企画幹 土井伸一

今年度、浜田管内では、次のような指定事業・研究発表会が計画されています。それぞれの学校での実践が、管内の教育の充実につながっていくことを期待しています。

【「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善プロジェクト事業 小学校】 令和元・2・3年度

- 事業の主な内容
 - ・ 研究推進校は算数及び他の1教科を研究教科とし、算数授業改善推進校事業の研究成果を踏まえ、「子どもの声でつくる授業づくり」等、協調学習の考え方による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するための実践モデルを確立する。
 - ・ 研究推進校は年2～3回の授業や授業研究等の公開を行い、取組及び成果の普及を図る。その際、研究対象教科等（算数に加え、他の1教科）を必ず1回は公開するものとする。
- 浜田管内の研究推進校
 - ・ 江津市立高角小学校

【「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善プロジェクト事業 中学校】 令和元・2・3年度

- 事業の主な内容
 - ・ 研究推進校は、「学びの深（進）化プロジェクト」の研究成果を踏まえ、総合的な学習の時間とそれに関連させた各教科の授業実践を研究し、協調学習等による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するための実践モデルを確立する。
 - ・ 研究推進校は、年2～3回の授業や授業研究等の公開を行い、取組及び成果の普及を図る。その際、研究対象教科等（総合的な学習の時間に加え、他の1～2教科）を必ず1回は公開するものとする。
- 浜田管内の研究推進校
 - ・ 美郷町立邑智中学校

【人権教育研究指定校事業】 平成30年度・令和元年度

- 事業の主な内容
 - ・ 人権意識を培うための学校教育の在り方について、教育委員会等との連携・協力の下で幅広い視点から実践的な研究を実施する。
- 浜田管内の研究指定校
 - ・ 浜田市立第三中学校
- 発表会
 - ・ 最終年度に研究成果の発表会をもつ。

【学校図書館活用教育研究事業】 令和元年度

- 事業の主な内容
 - ・ 学校図書館を活用した授業実践に関する研究を行う研究校を指定し、その普及を図る。
- 浜田管内の研究校
 - ・ 江津市立渡津小学校
 - ・ 邑南町立羽須美中学校
- 公開授業
 - ・ 年に2回以上、教科等横断的なカリキュラムに基づく公開授業を実施する。